

メールマガジンアーカイブ

2010/7/29 井上さん、ついに投資家になる！！(12)

[メルマガアーカイブTOPに戻る](#)[リスクマネジメントラボラトリーのHPへ](#)

すぐにできる！Vol.25
忙しいドクターのための資産運用

～ 井上さん、ついに投資家になる！！(12)～

こんにちは、リスクマネジメント・ラボラトリー 代表の中澤です。

このシリーズでは積立投資についてRML社のスタッフの例を対談形式でお伝えしたいと思います。

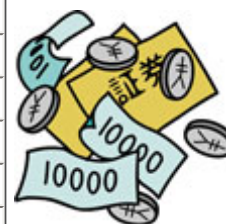
38歳女性・RML社IT戦略室の井上が、将来の為に資産運用をどうすればよいか？（まったくの素人）相談を始めました。。。



[前回のコラム「井上さん、ついに投資家になる！！\(11\)」バックナンバーへリンク](#)

井上さんの投資の現状(2010年6月末)

	累計投資額	評価額	評価損益	評価損益率
2008年6月末	2,100,000	1,853,005	-246,995	-11.76%
2008年9月末	2,400,000	1,789,743	-610,257	-25.43%
2008年12月末	2,700,000	1,699,959	-1,000,041	-37.04%
2009年3月末	3,000,000	1,986,308	-1,013,692	-33.79%
2009年6月末	3,300,000	2,574,375	-725,625	-21.99%
2009年9月末	3,400,000	2,865,967	-534,033	-15.71%
2009年12月末	3,700,000	3,348,320	-351,680	-9.50%
2010年3月末	4,000,000	3,749,128	-250,872	-6.27%
2010年6月末	4,300,000	3,528,230	-771,770	-17.94%



日興での積立は7月までで停止
10月から楽天証券で10万円/月の積立再開

毎月の積立	2,900,000	2007年9月から2010年3月(毎月10万円)。累計投資月数29ヶ月。
2008年2月	600,000	毎月積立でている4種類のファンドを追加購入。
2008年4月	500,000	数年で解約する可能性もある資金なので海外債券ファンドを購入。

2009年8月	2,947,818	日興で保有している分をすべて解約。 その分で楽天グローバルバランスファンドにシフト。
---------	-----------	---

- 後 日 -

井上 3月末ではもう少しのところまで行きましたがまた下がってしまいましたね。
やはりギリシャ問題が原因ですか？





中澤 そうですね。今回はギリシャ問題を少し整理してみましょう。

そもその発端は昨年10月の政権交代です。

旧政権下での財政収支統計が本来の赤字より過小評価されていることがわかりました。それにより、ギリシャ国債の格付が引下げになりました。

井上 日本でも政権交代がありました。膿がでるのはよいことですね。

中澤 その後、格下げが続いたにもかかわらず、ECB(ヨーロッパ中央銀行)はギリシャを特別扱いしないスタンスを取ったのですが、これによりギリシャという国のデフォルト懸念が増大しました。ユーロ圏というのは広域で巨大な経済圏なのですが実は一つ一つの国の経済規模はそんなに大きくないんです。

最大の経済規模のドイツでも日本の約半分、ギリシャの経済規模は神奈川県8割程度です。(資料16P)

井上 そんなに小さいんですか。フィンランドやポルトガルは北海道と同じくらいなんですね。意外です。

中澤 ギリシャに対してはユーロ圏やIMFが支援をすることが決まりましたが、ギリシャの問題で収まらなかったことが問題でした。

次に注目されたのが主に南欧の財政基盤が弱いとされる国々です。

ポルトガル、イタリア、アイルランド、ギリシャ、スペインの頭文字をとってPIIGSといわれています。

ここでもこれらの国の独自の問題として治まるのであればよいのですが、そのような訳にはいきませんでした。

井上 国が破綻するとだれが困るのですか？

中澤 勿論その国に住んでいる人は困りますよ。が、それよりも経済・マーケットへの影響は『破綻した国にお金を貸している人』の方が大きいと思います。お金を借りた人(国)が破綻したわけですから貸したお金は返ってきません。

ギリシャに対しては主に欧米の金融機関がお金を貸しています。(資料12P)



井上 フランスは780億ドルもの資金をギリシャに貸しているんですね！

中澤 今年に入り、ギリシャなど格下げとともにヨーロッパの銀行の格下げも続いています。

時を同じくしてスペインでも金融機関に対する住宅バブル崩壊の影響の懸念が表面化しました。

構造としては日本のバブル崩壊やリーマンショックと同じです。

春以降、スペインの銀行は国の管理下に置かれたり、合併や統合をしたりして対応をしています。

井上 日本でもバブル崩壊後に銀行の数がすごく少なくなりましたね。

中澤 昔は都銀13行とっていましたが、今は3メガバンクです。

大手銀行も公的資金を注入し、統合を繰り返して生き残ってきました。地銀以下の規模の銀行や信用金庫では多くの破綻を経験しましたよね。

スペインの銀行の整理・統合はそのような意味では悪いニュースではありません。

ただ、日本でも不良債権の額が少なく見積もられ、抜本的な改革・変革に時間がかかったことがバブル崩壊からの回復を遅らせたといわれていますが、まさにスペインがその状態にあるといえます。

アメリカの銀行に比べヨーロッパの銀行は一般にディスクローズが弱いといわれますが、どのぐらいの不良債権があるのかを厳格に公表することが安心につながります。

井上 まだあるのでは？という疑いの気持ちがあるより、多少思っていたより悪い結果でもこれで全部だとわかったほうが安心できますね。

ところで日本も借金潰けだと聞きますが大丈夫なんですか？

中澤 国の債務については通常2つの指標でみます。

(1) 財政収支の対GDP比

国や地方における歳入と歳出の差である財政収支をGDP(国内総生産と比較した指標)

(2) 債務残高の対GDP比

国や地方が抱えている借金の残高をGDPと比較した指標。

経済規模に対する国や地方の債務の大きさを測る指標として財政の健全化を図る上で重要視される。

日本の場合、財政収支はそんなに悪くないのですが、債務残高は世界でも突出した悪さです。

http://www.mof.go.jp/zaisei/con_03_g04.html

http://www.mof.go.jp/zaisei/con_03_g05.html

日本場合は国債の9割超を国内が保有していること、また消費税の上げ余地がまだあることなどから、今

のところは日本がギリシャのような混乱にすぐに陥る可能性は低いと考えられています。

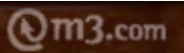
井上 それで消費税10%なのですね。

このコラムは2010年7月7日に行われた面談をもとに書かれています。

 積立投資について、相談したい

是非、コンシェルジュにご相談ください！

[▲ PAGE TOP](#)

 m3.com

Copyright 2013 RML All Rights Reserved.